

議会だより

# おながわ

No.  
183

令和8年1月19日



## 七色の防災アーチ

使用済核燃料税条例可決へ	2
次の100年へ100人の声（最終回）	4
ズバリ！町政を問う（8議員が一般質問）	6
キラキラいきいき（働く人編）	18

※表紙の写真説明は裏表紙に記載しています。

# 賛成多数で可決

## 生後6か月から 預けられる事業

**会期** 12月15日～25日

開会から2日間で8人の議員が一般質問を行った後、一般議案7件、補正予算6件を審議し、すべての議案を原案どおり可決しました。

### 一般議案

#### 契約の締結

◇尾浦漁港崎山防波堤等機能保全工事

・契約の金額  
1億4300万円

・契約の相手  
株式会社丸本組

女川営業所

会計の原則は単年度

会計主義では

#### 問

尾浦漁港崎山防波堤等機能保全工事  
で繰越明許ありきでは  
なく工期が遅れた理由は、

#### 答

他の事業の遅れも重なり、現在技術職員の数も少なくマンパワー不足状態も重なったことも要因です。

### 条例の制定

◇女川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

新たに雇用をするのですか

#### 問

子ども誰でも通園制度は生後6か月からの乳児を預けられる事業ですが、この事業をするにあたり、新たに職員を雇いますか。

#### 答

新たに雇用するのではなく、現在子育て支援センターで従事している職員で兼務し運営する予定です。

#### 問

町外からの利用も可能ですか。

#### 答

町外の方も利用できます。

### 補正予算

歳入歳出に、それぞれ1億6505万3千円を追加し、予算総額を1億9億5742万3千円としました。主な内容は次のとおりです。



助かるわ！仕事できるじゃん

#### 歳出

- ◇過年度分NHK受信料 ①へ 2022万4千円
- ◇保育所支障木伐採委託料②へ 121万円
- ◇子育て支援センター備品購入費 93万1千円
- ◇水産業振興費土地購入費 2690万円
- ◇ビジターバス等整備工事 360万円
- ◇路面下空洞調査業務委託料 420万円
- ◇学校給食費賄材料費 230万円

#### ①受信料支払い なぜ今頃？

**問** NHKの過年度分を今頃になってなぜ支払うのですか。

#### 答

全国的に報道で取り上げられていますが、NHKと協議した結果支払うことになりました。

#### ②危険木は早めに除去を

**問** 12月15日にも倒木がありました。緊急性がある場合の対応は。

**答** もう一度、状況を確認しながら進めていきます。



園児に被害が無いように！

# 使用済核燃料税条例

## 女川町使用済核燃料税条例概要

- 地方税法第5条第3項の規定によるもの
- すでに燃料として使用済のもので5年を経過したもの
- 税率は1キログラムにつき620円  
(町の試算では毎年2億9000万円ほどの税収を見込む)

## 使用済核燃料税条例

可決

賛成7人 反対2人



QRコードから動画が見られます  
 討論は23分09秒から

## 討論

私はこう考える

### 賛成

財政の確保を優先

**宮元 潔議員**  
 第一に、将来の廃炉や交付金減少を見据えた自主財源の確保です。次世代に負担を先送りせず、行政サービスを維持する責任ある選択です。

### 反対

保管の常態化が懸念

**高野 晃議員**  
 早期搬出を促す目的ですが、先行自治体実績はなく、保管の常態化や電気料金への転嫁が懸念される。本来、防災や地域振興の財源は国策の責任として国に求めるべきであり、町財政の原資依

第二に、長期的な監視等の負担に対し、事業者が納税する応益原則の合理性です。これは政策の賛否を超えた「正当な対価」です。懸念事項は透明な運用で解決すべきであり、町の自立と安全・安心のため、本条例案に強く賛成いたします。

存をさらに進めるべきではない。  
 また、核燃料サイクルの停滞や地震・津波のリスクを考えれば、課税によって長期保管を容認するのではなく、安全協定に基づき乾式貯蔵施設の設置自体を拒否すべきである。将来的な税収確保のために長期保管を良しとする姿勢につながりかねない本条例の制定には、強く反対します。

## 第6回臨時会

臨時会は11月17日に開催し、原案のとおりすべしと可決しました。

## 一般議案

### 専決処分

- ◇ 秋田県仙北市へ豪雨被害の義援金 20万円
- ◇ 令和7年9月に発生した大雨に伴う林道針浜線のり面補修費用を緊急措置 250万円

## 補正予算

歳入歳出に、それぞれ1億4154万1千円を追加し、予算の総額を1億9230万7千円としました。主な内容は次のとおりです。

## 歳出

- ◇ しおかぜ保育所の落雷被害修繕費 184万3千円
- ◇ 10月に発生した大雨による林道横浦線の災害復旧委託料 499万9千円
- ◇ 10月に発生した大雨による林道針浜線の災害復旧工事費の増額 1899万9千円
- ◇ 江島海底送水管復旧費 1億1350万円



岩が崩れ海底送水管を破壊した

連載企画

町制施行  
100年

最終回 - Final -

次の1000人へ  
1000人の声

ご協力に  
感謝

5回にわたって連載した町民1000人の声の企画ですが、今回の号で最終回で1000人に到達しました。声を寄せていただいた町民をはじめ、毎回ご覧いただいた読者の皆さんありがとうございました。次の1000年に向けた皆さんの声の実現を議会としても取り組んでいきます。



今住んでいる人に優しい町にしてほしい  
青木 克之さん 上三



若者が働ける環境を  
野村 拓海さん 浦宿三



どんな世代も「働きたい」が叶う場所がほしい  
末村 千賀子さん 宮ヶ崎



みんなが明るく楽しく暮らせる町であってほしい  
菅野 昭子さん 旭が丘



顔の見える関係で安心して暮らせる町  
芳岡 千裕さん 大原南



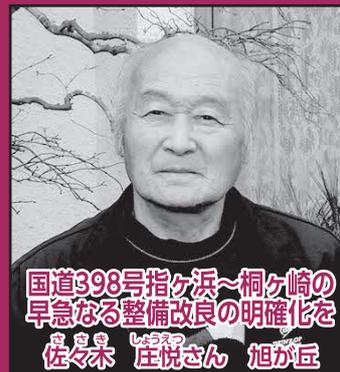
選手も応援する人も快適な冷暖房付き体育館にしてほしい  
鈴木 華さん 大原南



子ども世帯、低所得者だけでなく中間所得者にも目を向けてほしい  
佐藤 ふさ子さん 上三



災害に強い町、魅力ある町づくりを  
橋本 広美さん 大原北



国道398号指ヶ浜～桐ヶ崎の早急なる整備改良の明確化を  
佐々木 庄悦さん 旭が丘



地域医療センターの1目も  
早い夜間診療をお願いします  
いわた 遠藤 達三さん 石浜



人が集まり笑顔の絶えない町になってほしい

きむら 木村 景子さん 浦宿一



ゴミがなくて  
きれいな町になってほしい  
えんどう 遠藤 陽太さん 石浜



笑顔が溢れる町に

みやま 宮坂 淳也さん 清水



街頭と歩道が整い、  
通学路が安全な町

うつのみや 古小高 電志さん 浦宿三



みんなが住みやすい町を  
継続してほしいです！

いとう 伊藤 太誠さん 旭が丘



スポーツで盛り上がる  
町になってほしい

ふくはら 福原 義智さん 宮ヶ崎



国道398号石巻バイパス沢田工区早期完成をお願いします

さとう 佐藤 敏勝さん 大沢



ポイ捨てしない町。笑っていただける町になってほしい

きむら 木村 好誠さん 宮ヶ崎



観光客をもっと  
増やしてほしい

ありま 阿部 幸康さん 上二



女川へ移住して8年！  
さらなる子育て支援に期待しています

わたなべ 渡邊 美咲さん 清水

# 一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

8 議員が質問

ズバリ

# 町政を問う

隅田 翔議員…………… P 7

- (1) 専門家と連携した「熊」対策を
- (2) 図書館利用のオンライン化は
- (3) ふるさと住民登録制度の活用を

木村 公也議員…………… P 8

- (1) 町道等の一斉点検の実施を

宮坂 千尋議員…………… P 9

- (1) 「給食費無償化」実施しますか
- (2) 高齢者の移動支援にシニアカーを

鈴木 良徳議員…………… P 10

- (1) 駅前協交差点の交通安全対策は
- (2) 観光客に一目で魅力を伝える工夫

阿部 薫議員…………… P 11

- (1) 石浜港湾埋立地の利活用は
- (2) 総合運動場の管理と利用マナーは

佐藤 誠一議員…………… P 12

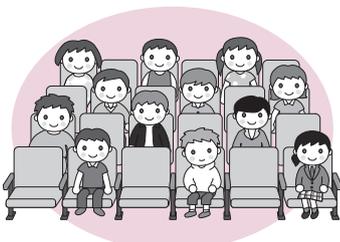
- (1) スポーツ振興のさらなる充実を
- (2) 観光戦略の今後はどのように

宮元 潔議員…………… P 13

- (1) 行政区の財政支援と活動の強化策
- (2) 安心して子育てできる仕組み作り
- (3) 若者世代への定住促進策は

阿部 律子議員…………… P 14

- (1) 個別避難計画と防災訓練の検証は
- (2) 学校給食費の無償化は全員対象に
- (3) どうなる健康保険証



議会の傍聴はどなたでもできます。

※ 各ページのQRコードから一般質問の動画が見られます。

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、見出しのみの掲載としています。

次回の定例会は3月2日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

隅田 すみた

翔議員 しょうぎん



## 問 専門家と連携した「熊」対策を

## 答 状況に応じた対応をしていきます

答弁者 町長、教育長、教育局長

**問** 県内でもクマの目撃が多発しておりますが、目撃情報について正確な情報発信が求められます。画像解析についてAIアプリだけではなく、大学教授など生物学に精通した専門家と連携するべきでは。

**答** 情報の真偽等を確認し、迅速かつ正確な情報発信に努めます。  
**問** クマの目撃情報が発生した際の下校方法について伺います。保護者の中にはクマと遭遇することが心配で、引き渡しでの下校を要望する声もありましたが見解は。



山伝いに移動する熊への備えを

## 問 図書館利用のオンライン化は

## 答 導入を前向きに検討していきます

答弁者 総務課長、企画課長

**問** デジタル化の推進は労働力の補完や生活インフラの維持に貢献しますが、本町のデジタル化についてはまだまだ推進すべき項目が多いと感じます。  
**答** 本町の現在の取組についての現状認識と今後の取組について伺います。  
**問** デジタル庁の公表データからも本町のDX推進の取組が十分とは言えないと認識しています。次年度以降も外部に委嘱しているDX推進補佐官の指導助言を得ながら、

**答** 総務課、企画課を中心に連携して事業を推進していきます。  
**問** つながらる図書館のオンラインでの貸出しによる利便性向上は、今年の3月定例会一般質問でも取り上げました。再度の質問ですが、改めて次年度から取り組んで行く考えはあるのか伺います。  
**答** 利便性の向上、新規利用者や貸出冊数の増加が見込めることから、導入に向けて前向きに検討を重ねています。



さらに親しまれる図書館に

**問** ふるさと住民登録制度の活用を  
**答** 国の制度構築に合わせて導入予定

答弁者 地域イノベーション推進課長



# 問 町道等の一斉点検の実施を

# 答 健全な道路環境維持に努める

答弁者 町長、建設課長、産業振興課長



これまで整備された町道の経年劣化により、陥没、ひび割れや側溝の蓋の破損などが多く見受けられることから、町道全体の点検が必要であると考えられます。そこで次の点について伺います。

問 パトロールを実施して具体的に修繕した箇所がありますか。

答 具体的に修繕した対応事例は、側溝やマンホール付近における段差解消の補修などです。今年度は、11月末時点で55件の修繕を実施しています。

問 復興事業により、埋立や盛土して整備した造成地に多くの住宅が建設されている状況を鑑みて、町道全体の点検が必要であると考えていますか。

答 住宅地内の道路においても道路の破損など経年劣化が見られる状況であり、行政区の協力も得ながら不具合箇所を把握し対応していきます。

また、経年と補修の累積により、今後大規模な修繕が必要になる可能性もあるため、町道全体の

点検については、引き続き道路パトロール等による点検を行い、適切な時期に大規模修繕を実施するなど健全な道路の維持に努めます。

問 宮城県で管理している漁港用、港湾用道路や用地について管理上問題がある箇所があった場合には、地元自治体が県の担当部署へ情報提供することが重要と考えられますが、これまでどのような体制になっていますか。

答 道路の異常通報の多くは、管理区分にかかわらず、夜間や休日含めて建設課に連絡が入り、管理者ごとの連絡体制による対応となっています。処理完了までに時間を要する場合もありますが、管理者にはきちんと役割を果たすよう強く求めています。

必要に応じて、応急的な対応を町が行い、安全確保や環境維持を優先にリスクを増やさないよう対処していきます。



隆起したマンホールとひび割れ



破損した道路

みやさか  
宮坂

ちひろ  
千尋  
議員



## 問 「給食費無償化」実施しますか

## 答 来年度から無償化を実施します

答弁者 町長、教育局長

**問** 子育ての経済的支援として給食費の無償化は重要だと考えますが、町長の見解を伺います。

**答** 来年度から小学校及び中学校の学校給食、さらに、保育所の給食について無償化を実施する方向で進めています。小学校については、国の主導の下に進めていくことで整理しています。



国の支援と町の決断により実現

**問** 無償化により、全国一律の基準額と本町の給食に差額が発生します。差額負担と給食の質を維持することについて見解を伺います。

**答** 基準額と実際の食材費に差が出た場合は、追加の費用徴収は考えておりません。それぞれの成長に必要な栄養素を摂取するため、給食の質は維持していきます。

## 問 高齢者の移動支援にシニアカーを

## 答 利用意向や課題を把握し支援検討

答弁者 町長、健康福祉課長

**問** 高齢者の移動手段としてシニアカーの利用が広がりを見せています。総合体育館等で試乗体験ができる環境を整える考えはありますか。

**答** 町広報紙やホームページ等の広報媒体を活用しながら今後も周知に取り組みます。



日常の移動手段として利用

**答** 現在、相談者には個別対応していますが、試乗のニーズが複数あれば関係機関と連携し試乗体験等検討を進めます。

**問** 自宅訪問で試乗できるサービスがあります。相談に来れない人にも有益な情報が届くように町が周知や発信を。

**答** 制度の検討には、潜在的なニーズや利用希望者の状況把握が必要であり、地域包括支援センターの相談支援業務等を通して町民の利用意向や課題を把握し、高齢者の移動の在り方を検討します。

鈴木 すすき

良徳 よしのり  
議員



## 問 駅前脇交差点の交通安全対策は

## 答 現場の状況に即した対応を

答弁者 町民生活課長



事故が多い交差点

**問** 駅前からおかせ保育所方面に向かう途中の交差点で、事故が頻繁に起こっていると思います。先月も朝の子供たちの通学時間帯に発生しました。事故が多いとの認識はしていますか。

**答** ご指摘の箇所は、令和2年から令和7年の間に5件の車両事故が発生していて、担当課としても事故が多い交差点であることを認識しています。

**問** 大原住宅方面から来る車は、清水地区方面から来る車が視認しにくい構造の交差点になっています。カーブミラーの設置やカラー舗装等の安全対策を検討してはいかがでしょうか。

**答** 交差点の安全対策をこれまで二度行っていますが、引き続き交通安全対策として、カラー舗装の減速表示など、現場に即した対策を講じていきます。

## 問 観光客に一目で魅力を伝える工夫

## 答 官民協働で環境美化に取り組む

答弁者 建設課長



雑草が生えている緑地帯

**問** 海岸道路沿いの緑地帯が雑草に覆われており、観光客を迎え入れるスポットとしては、非常に残念な状況です。今回は町内団体の寄付により花を植える事ができました。今回花を植えた以外の場所について、来年の100周年に向けて何か検討はしていますか。

**答** 町制施行100周年に向けて植栽帯を活用する計画は、施設管理者の県を含めて予定はありません。県の維持管理で美

**問** 雑草の処理に関し、県の道路管理で一度は実施されていますが、それ以外に関しては、町で行ってはいかがでしょうか。

**答** 道路の除草は、道路機能の低下を未然に防ぐことを目的に実施していますが、不足する部分を町が追加で実施することも検討します。官民協働の取組は、引き続き県と調整し対応します。

施している除草については、来年度は除草回数を増やすよう要望中です。

阿部



あべ  
かおる  
議員

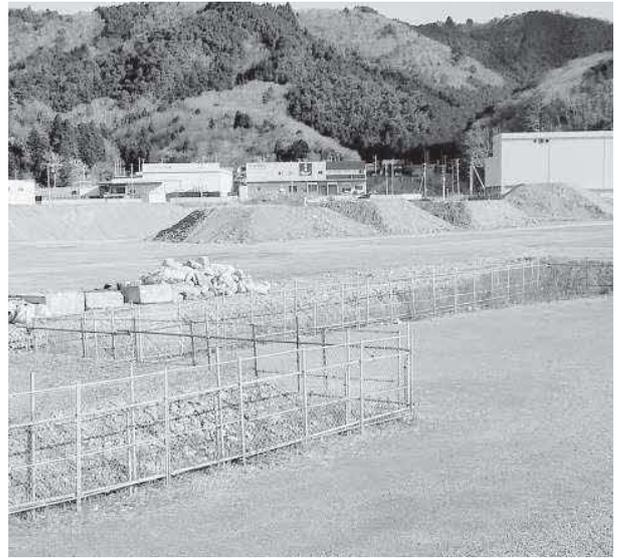
# 問 石浜港湾埋立地の利活用は

## 答 食品関連産業用地として整備

答弁者 町長、建設課長、産業振興課長

**問** 埋立面積は、約3万8700平方メートルで、隣接地を含めると約4万6300平方メートルです。企業は、広い用地を求めており、

**答** 埋立面積は、約3万8700平方メートルで、隣接地を含めると約4万6300平方メートルです。企業は、広い用地を求めており、



女川港石浜地区埋立工事現場

計画としては、食品関連産業の集積用途地として有効活用する予定です。  
**問** 石浜地区でプレジャーボート等の係留が増加していると感じますが、この場所を小型船舶係留や陸上保管が可能な場所に活用を図ってはいかがですか。  
**答** 石浜埋立地は、直立形状の岸壁がなく、満潮時でも地盤面と海面の高低差があるため小型船舶の係留は不可能です。その他の岸壁の活用も含めて検討します。

# 問 総合運動場の管理と利用マナーは

## 答 適切な管理運営を継続します

答弁者 教育局長

**問** 大会などで来町する選手や保護者と一緒に来た小さな子供が楽しんで利用できるフィールドアスレチック広場や、芝生広場の管理と遊具等の新設の検討はしていますか。  
**答** 芝生については、指定管理者によって適切に管理しています。遊具については、撤去したローラー滑り台に代わるものを検討していきます。



日常管理、点検に不備がないか

年々、総合運動場施設の利用が増加しています。体育館ではバスケット、多目的運動場ではサッカーなどの競技大会も開催され、町民の体育活動も活発になってきています。  
**問** 大会などで来町する選手や保護者と一緒に来た小さな子供が楽しんで利用できるフィールドアスレチック広場や、芝生広場の管理と遊具等の新設の検討はしていますか。  
**答** 芝生については、指定管理者によって適切に管理しています。遊具については、撤去したローラー滑り台に代わるものを検討していきます。

佐藤 さとう

誠一 せいいち

議員



**問** スポーツ振興のさらなる充実を

**答** 利便性の向上に努めます

答弁者 教育局長



窓口サービスはワン・ストップで

**問** 総合運動場、学校開放事業、勤労青少年センター等の施設利用の申請受付窓口が異なっており、利用者から不満の声も聞かれます。  
**答** 利用者の利便性向上のため、町が直接管理していた時と同様に、窓口のワン・ストップ・サービスを復活しては。

**答** 現在の枠組みにおいては困難ですが、利便性の向上を図るため、インターネット活用による申請等を検討していきます。

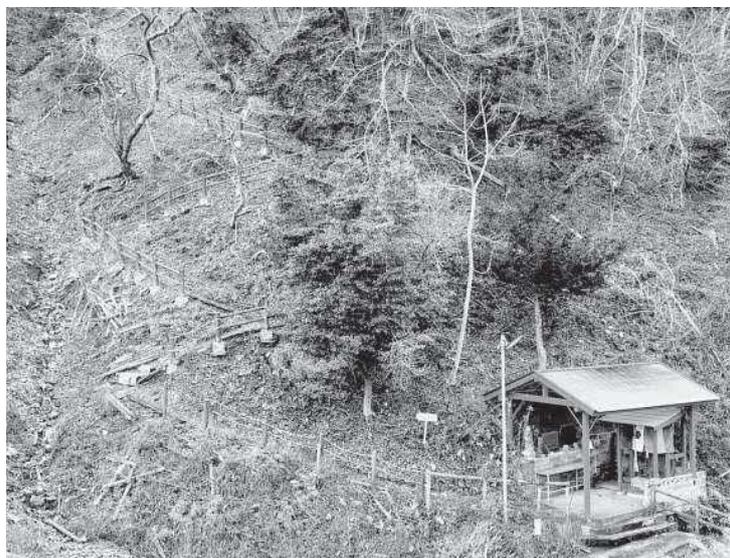
**問** 観光戦略の今後はどのように

**答** 文化財も楽しむ登山コースで誘客

答弁者 産業振興課長

**問** 以前、本町の山道、遊歩道等の整備計画を質問した経緯がありますが、現在の改善状況とトレッキングコースや登山コースマップの作成等、町の自然と文化財を融合した観光戦略はどのように進めていきますか。

**答** 山道等の管理は、町内NPO法人に業務委託して、観光協会が作成する登山マップでは、コース周辺の文化財や観光スポットも併せて紹介し、誘客を図っています。



登山・遊歩道等の整備を

宮元 みやもと

潔 きよし  
議員



## 問 行政区の財政支援と活動の強化策

## 答 活動しやすい状況をつくるために

答弁者 町長、総務課長

**問** アサヒグループホールディングスの支援減少と物価高騰による行政区の財源逼迫への町の認識と、コミュニティ継続のため、地区自治活動補助額を自動的・柔軟に調整する仕組み（スライド制など）の導入を検討するのはいかがでしょうか。

**答** 行政区運営に対しての財政的な補助には、おおむね了解を得ていると認識していますが、来年、町制施行100周年の一環の中で、行政区の地域活動の原資となる交付金を検討しています。



区費、上げねげねーがなー

## 問 安心して子育てできる仕組み作り

## 答 現行制度を継続します

答弁者 町長、教育局長

**問** 高校生の通学費補助は東松島市までとなっていますが、若者流出抑制と定住促進のための未来への投資として、大学や専門学校（特に仙台圏）の学生への支援拡充の制度設計に着手すべきでは。

**答** 近隣自治体と比較して、経済的負担の格差を是正し、進学により、本町での暮らしが選択されないことがないよう制度化したものであり、通学費全額を補助する制度ではないことを御理解願います。



住むならおながわ

## 問 若者世代への定住促進策は

## 答 総合的に施策展開し定住に努める

答弁者 地域イノベーション推進課長



## 問 個別避難計画と防災訓練の検証は

## 答 検証し、より良い訓練につなげる

答弁者 企画課長



自分たちの避難所を確認しないと

11月15日に実施された原子力防災訓練には、同僚議員と登米総合体育館まで移動し視察してきました。今回、女川町の参加数は4行政区で35人でした。

**問** 避難先を特定しての参加者募集ですが、具体的にバスや家用車の割り振り等、どのような準備をし、今後さらに参加者を増やす対策は。

**答** 訓練参加者の希望で移動手段を決めています。訓練の目的や効果を十分

分に周知し、参加しやすい環境を整えていきます。  
**問** 今回の防災アプリ活用の状況と活用できない人への対応は。

**答** アプリは、避難所の受付等で活用。活用できない方には避難マニュアルの配布など行います。

**問** 避難行動要支援者の中で、特に一人暮らしで歩くことが困難な方には個別避難計画があります。現状はどのように。

**答** 個別避難計画を策定している方は85人です。

## 問 学校給食費の無償化は全員対象に

## 答 給食の完全無償化を実施します

答弁者 町長、教育局長



学校給食無償化が実現します

昨日、保育所、小中学校の給食費無償化を来年4月に実施する旨の答弁がありました。

そこで無償化の決断に至った経緯も含めてお考えを伺います。

**問** 現在、無償化の対象となっている小中学校それぞれの扶助対象人数と第2子以降の無償化の対象人数は。

**答** 令和7年度において就学援助を受けている児童生徒は合計で107人、第2子以降の補助対象者は合計で63人となります。

**問** 少子化の中で出生数の減少が気になります。出生人数は、令和6年度17人。令和7年度は21人の見込みであり、今後は第2子以降の無償化の人数はごくわずかでは。

**答** 人口の減少に比例して、対象人数が減少すると考えますが、無償化が実施されれば、解消するところと考えています。

**問** 無償化の決断に至った経緯について伺います。

**答** これまでも協議をしてきましたが、国の制度に合わせて、中学校・保育所も併せて実施するものです。

## 問 どうなる健康保険証

## 答 早めの情報発信に努めます

答弁者 町民生活課長

9/26~10/20

### 指定管理は適切か

#### 調査内容

令和4年第8回定例会で議決した「公の施設に係る指定管理者の指定についてに対する附帯決議」に基づき、3年目となった女川町総合運動場及び女川スタジアム公園の指定管理に関する効果や業務の効率化、施設の管理運営が適切に行われているかの検証を行った。

令和7年9月26日

担当課の教育局に当該事業に係る契約内容や構成団体、現在の実施状況についての説明を求め、現状の確認を行った。

令和7年10月8日

指定管理者で女川町スポーツコンソーシアムの構成団体である、株式会社コバルトーレ、A L S O K株式会社宮城支社、N P O法人女川町スポーツ協会の3者から意見聴取を行った。

令和7年10月20日

委員会としての見解や意見のまとめを行った。

#### 調査結果

指定管理事業の実施による経費削減効果は認められるが、それでも多額の経費が支出される事業であり、委託者である女川町は十分な検査を行ったうえで効率的かつ効果的な施設運営及びスポーツ振興や住民の健康増進が図られるよう、十分なチェック機能を構築するように努めることを求めた。

## 原発対策特別委員会

11/10

### 工事完了時期の見直し

#### 調査内容

女川原子力発電所2号機における「特定重大事故等対処施設」及び「所内常設直流電源設備（3系統目）」に係る工事完了時期の見直しについて東北電力株式会社に説明を求め現状の確認を行った。

#### 調査結果

関係法令に基づく設置期限内（共に2026年12月22日）での完了を目指してきたが、設計及び工事計画認可申請の審査が進み、工事仕様の詳細が固まり、再度工程を精査した結果、昨今の建設業界における労働環境の変化による影響などを踏まえ、工事完了時期の見直しが必要と判断した。

#### ★工事完了時期の見直し

特定重大事故等対処施設 2028年8月

所内常設直流電源設備（3系統目）2028年3月

議会からも、安全確保を最優先に、効率的かつ着実な工事を行うように要望した。

10/2

## 議会の現状と議会改革

県北地方町議会議員研修会 ～中新田文化会館～



議会改革に耳を傾ける6町議員

講師に拓殖大学政経学部教授の河村和徳氏を迎え、「議会の現状と議会改革」と題する講演がありました。

今、議員のなり手不足が全国的な問題となっており、議員定数のあり方や議員報酬の課題など現状について話されました。

また、議会の見える化を含めた改革が必要であり、住民と議会との距離を縮めるため、アナログからのデジタル化、SNSの活用等広報の工夫も必要となっていること等の内容でした。

### ギカイの視点

議会としても住民の声を多く取り上げての議会だより等、工夫していきます。

10/21

## 地方行財政の課題

2市1町特別職・管理職員等研修会 ～女川町生涯学習センター～

講師に内閣官房内閣審議官の新田一郎氏を迎え、「地方行財政の課題」と題する講演がありました。

地方財政計画の歳出の推移として、高齢化の進行等により社会保障関係費の増が見込まれること。地方一般財源総額の推移では前年度より1兆円増となっていること等の説明がありました。また、物価高への対応や地方への人の流れの創出・拡大を加速するため、二地域居住・関係人口、「地域おこし協力隊」の拡充等に特別交付税措置の創設・拡充など多岐にわたる内容でした。



物価が高くて大変だわ

### ギカイの視点

議会としても内容を精査し、議会活動に活かしていきます。

11/14

## 議会の見える化、住民の参加・協働

議会広報研究会 ～県自治会館～



広報クリニックに学ぶ

講師に議会広報サポーターの芳野政明氏を迎え、「議会の見える化、住民の参加・協働と認知・信頼関係～議会広報の企画と編集～」と題する講演がありました。

はじめに住民が議会との「つながり」を実感できるように自治体・議会の「見える化」をすすめることが議会広報の役割であること。また読まれ、伝わる広報が前提であり一方通行でなく対話を通じて意見や要望を収集、議会に反映させること等が重要であるとの内容でした。

その後、広報クリニックを受けアドバイスを受けました。

### ギカイの視点

議会だより第180号では、全体的に簡潔で読みやすく、町民の声を加えて適切との評価を受けました。今後とも、読みやすい編集に努めます。



# 委員会の構成員が変わりました



令和7年11月17日開催の第6回臨時会において、11月16日で任期満了となった常任委員会等の選任を行い、新しい委員が決まりました。

## 【総務民生常任委員会】

委員長 宮坂千尋  
副委員長 宮元 潔  
委員 鈴木良徳 阿部 薫 佐藤誠一

### 担当課

- ・総務課・地域イノベーション推進課・企画課
- ・税務課・会計課・町民生活課・健康福祉課等

## 【産業教育常任委員会】

委員長 隅田 翔  
副委員長 阿部律子  
委員 木村公也 高野 晃 鈴木公義

### 担当課

- ・建設課・産業振興課・上下水道課・教育局

常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。所管事務調査権は町から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは違い、常任委員会が自主的にテーマを設定し調査を行うものです。（常任委員会は議長を除く全議員で構成されます）

## 【議会運営委員会】

委員長 宮元 潔  
副委員長 木村公也  
委員 宮坂千尋 隅田 翔 鈴木良徳  
鈴木公義

議会を円滑に進めるために設置されています。

## 【議会広報調査特別委員会】

委員長 宮元 潔  
副委員長 隅田 翔  
委員 宮坂千尋 鈴木良徳 阿部 薫  
阿部律子

議会だよりを作成します。読みやすく、わかりやすい議会だよりを目指します。

上記委員の任期は令和7年11月17日から令和9年11月12日までです。

## 行政視察 受け入れ状況

他市町村議会議員の皆様が女川町を視察に訪れました。



12/19

### 議員のなり手不足対策について

山形県遊佐町議会

女川町議会議員が講師となり実施した「議員養成塾」について視察を行いました。地方議員の「なり手不足」は全国的にも課題となっており、地方議会の活性化を図る活動について、説明を行い、活発な質疑や意見交換が行われました。

10/7

### 復興まちづくりについて

神奈川県鎌倉市議会

女川町の「復興まちづくり」について視察を行いました。担当職員が説明を行った後、質疑を実施。復興時の住宅地集約や町づくりの工夫、若い世代や民間の力の活かし方について質問があり、活発な意見交換も行いました。

※10月から12月の間に、6団体の議会議員や議会事務局職員が視察に訪れました。



尾浦漁港

# 海の恵みを届ける

## 牡蠣剥き場で輝く、地域のしごと人

町の冬を支える牡蠣。そのおいしさの裏側には、夜中から始まる黙々とした作業があります。今回は尾浦漁港の牡蠣剥き場を訪ね現場の声を伺いました。

### 夜中1時から始まる一日

カキ剥きの仕事は、多くの人が眠っている時間帯に始まります。暗い中で作業場に入り、慣れた手つきで次々とカキを剥いていきます。暗い時間帯の作業で、特に気を付けているのは足元で「転んだりケガをしないようそこは一番気を張っています」と話します。

大変なのは、朝が早いというよりは、夜中の仕事であること。それでも「カキの値段がいいときは、やっていて良かったと思います」と、仕事へのやりがいを感じる瞬間もあるといいます。

### 高温がもたらす現場の苦勞

近年、大きな課題となっているのが高温の影響です。水温が高いとカキが弱り、死滅してしまうこともあります。

「卵巣肥大」という病気もあり、剥いてみないと判断できないため、手間と神経を使う大変な作業が続きます。

### 行政への期待と、地域全体の課題

カキの将来に向け、青年部を中心に研究会を行い、三倍体カキの導入など前向きな取り組みを進められています。一方で、種苗の課題もあります。宮城県では県外からの種苗導入を認める動きがありますが、本町では考え方がまだ明確でない部分もあります。「こういう取り組みもいいよ、と言ってもらえる環境になってほしい」と話します。

ただし、「苦しいのはカキだけではない」とも。ホタテやギンザケなど、ほかの水産業も厳しい状況にあり、地域全体で支え合う視点の大切さを訴えます。



一つ一つ手作業で確認

### また、種苗の価格は従来の約2倍。購入時の助成や支援があれば、大きな助けになるといいます。



手を止めず働く姿

### 議会より

夜中から始まる過酷な作業の中で、町の水産業は支えられています。

現場の声にしっかりと向き合い、産業を支える環境づくりや持続可能な水産業のあり方について町とともに考え、取り組んでいきます。

### お詫びと訂正

議会だよりNo.182、4ページの決算審査歳出の表の中で、積立金の金額記載に誤りがありました。正しくは「9億1640万円」です。訂正してお詫びいたします。

### 表紙説明

### 消防出初式

1月5日に女川町消防出初式が行われました。女川湾に向けてカラフルな色の水でアーチが描かれました。消防団はさまざまな年代の団員が助け合いながら地域防災を守っています。

ぜひ、町と人を守るチームの一員になってほしいかがでしょうか。



- |       |       |     |       |     |       |
|-------|-------|-----|-------|-----|-------|
| 議長    | 佐藤 良一 | 副議長 | 隅田 翔  | 委員長 | 宮元 潔  |
| 委員    | 阿部 律子 | 委員  | 鈴木 良徳 | 委員  | 宮坂 千尋 |
| 委員    | 阿部 薫  | 委員  | 阿部 薫  | 委員  | 阿部 薫  |
| 発行責任者 | 阿部 律子 |     |       |     |       |